

質問4. ジェンダーについて(自分で記述する)

回答者 番号	自分で記述する(Self-describe) 記述
	記述なし

質問5. 所属する学会について<複数回答可>(その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本糖質学会
※	再生医療学会
※	日本進化学会、日本バイオインフォマティクス学会
※	生物工学会、再生医療学会
※	情報処理学会日本医療情報学会
※	大気環境学会

質問6. オンラインポスター発表について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

1.よかった      2.よくなかった      3.オンラインポスター発表には参加しなかった      4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/4	遠くからでも発表が効ける点は良かった。最初、オンラインポスターの参加の仕方がわからず困りました。
※	1/4	皆さんの質問を同時に聞くことができた。通常のポスター発表だと聞こえない・聴講をあきらめて別の演題に行くこともあるので、気兼ねなく参加できた。
※	3/4	他の業務や現地への移動のため時間をさけなかった。

質問7. 指定シンポジウム(135分・8件)について<複数回答可>(その他)

【回答項目】

1.よかった      2.適切でないと感じる点があった      3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	概ね良かったが、時間が押してしまうものがあったので、時間の管理をうまくやってほしいと感じました。
※	3	参加していない
※	3	指定シンポジウムには参加していない
※	2/3	スライドの字が小さくて見えない、一枚のスライドに情報を詰め込みすぎているなど、プレゼンテーションの質が低い。
※	3	指定シンポジウムには参加していない

質問8. 公募シンポジウム(135分)・ミニシンポジウム(80分)について<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.よかった      2.適切でないと感じる点があった      3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	1/2/3	発表者の数が多すぎて一つ一つのセッションの時間が短すぎるシンポジウムが多いように感じた発表者数との兼ね合いで質疑応答の時間が十分でないシンポジウムが多いように感じた
※	2/3	スライドの字が小さくて見えない、一枚のスライドに情報を詰め込みすぎているなど、プレゼンテーションの質が低い。

質問9. 公募シンポジウムの企画応募条件に「指定演者のうち70%以上を特定のジェンダーとしない」が入っていたことについて〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

1.賛同し支持する

2.理解はするが適切か疑問が残る

3.適切でないと思う

4.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	4	賛同もしないが、不適切とは思わない。
※	4	条件があることを知らなかった
※	3/4	制約を設けることで、かえって優秀な研究者をジェンダーの区別なく採用するということができない。純粋に能力や業績が適切だから採用したい演者が、たまたま同一のジェンダーだった場合どうするのか。そういう制限があるがために、必ずしもシンポジウムには最適でない演者が選ばれ、他の研究者の可能性を狭めかねない。
※	2/3/4	選択理由にジェンダー、人種、国籍というフィルターをかけることに疑問を感じる、

質問10. オンサイトのポスター発表について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

1.よかった      2.よくなかった      3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/3	良かったが、会場間の距離があり回るのが大変だった。
※	2/3	時間が短く、見たいポスター、ディスカッションしたい演題に辿り着けないことがあった
※	3	数が多すぎて回りきれない。
※	1/3	会場が2つに分かれていたので、見逃したポスターがあった。
※	2/3	ポスター枚数に対して時間が少ないと感じた。

質問11. 各日のタイムテーブルについて<複数回答可>(その他)

※英語のシンポジウムを全日程に配置、シンポジウムの時間帯は常に日本語/英語セッションが並行

※シンポジウム(135分)の前にミニシンポジウム(80分)を配置

※オンサイトポスター発表は午後一番の時間帯

【回答項目】

1.よかった

2.よくなかった

3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
		記述なし

質問12. フォーラムについて<複数回答可>(その他)

【回答項目】

1.よかった

2.よくなかった

3.フォーラムには参加しなかった

4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
		記述なし

質問13. 年会で導入したシステム・サポート体制などについて〈複数回答可〉(その他)  
 ※アトラス社Confit: 年会参加登録/演題登録、要旨・プログラム検索/視聴サイトシステム  
 ※オンラインポスター・講演セッションはZoomウェビナー使用

【回答項目】

- 1.不便を感じず年會に参加できた      2.不便を感じるこゝがあつた      3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	Confitで抄録を確認していたが、しばしばログインを求められ、使いにくかつた。
※	2/3	Confitでのログイン時間が短くて不便だつた
※	2/3	何度もログインしなおさないといけないので不便だつた。
※	2/3	一度に複数の画面を比較してみたい時などに不自由があつたように思う。
※	2/3	参加者名簿を探すことが出来なかつた。
※	2/3	自分がブックマークした演題の時間や場所が分かりずらく、スケジュール管理がやりずらかつた。
※	2/3	サイトシステムについて、使いやすい仕様であつたが、特に学会会場ではWi-Fi環境が脆弱であつたために、検索しづらかつた。一方で、プログラムや予稿集のPDFをダウンロードしてオフラインで検索しようにも、日にちごとの分割では、データ量が大きすぎて検索に時間が必要であつた。PDFは日にちとプログラムで分割してはいかかでしょうか。

質問15. 経費節減のため参加章・ポケットプログラム(日程表などのプログラム小冊子)の事前送付を行わなかったことについて<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.特に手間や不便さを感じなかった
- 2.年会参加費を抑えるためなら許容できる
- 3.年会参加費が多少上がっても事前に印刷・郵送してほしい
- 4.その他

回答者番号	回答	その他記述
		記述なし

質問19. 分子生物学会では「学会・年会の国際化」を促進しています。そのために、100～200万円程度を年会の特別予算として用いるとしたら、どのような使途がよいと思いますか<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1.海外機関と連携して年会参加者向けの実用的な企画を行う費用
- 2.公募シンポジウム等で海外演者を招聘する際の旅費補助増額
- 3.海外在住の若手会員へ年会旅費を援助
- 4.講演セッションの通訳・字幕サービス等の言語サポート費用
- 5.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3/5	規模が大きいのので直接の招待者以外の参加者が海外のゲストと交流するのはむずかしいのではないか。相互オンラインなどで、海外研究者の講演より多く取り入れてはどうか。海外在住者が経験を学生等に伝えることはよいと思う。
※	5	オンライン発表、Wi-Fi環境の向上に追加投資。多忙で渡航できない海外研究者にオンライン講演を依頼した場合、会場の広さの都合で入室できないほど参加者が集中した場合など、オンライン視聴に頼るしかないが、開催会場のWi-Fi環境によってはオンサイト参加者が接続できないようなケースがあり、オンサイト参加者に不利益が生じる。

質問21. 今後の年会の開催形式について〈複数回答可〉(その他)

【回答項目】

- 1.オンサイト開催を基本としたハイブリッド開催がよい
- 2.オンライン先行プログラム+コンパクトな完全オンサイトの併用がよい(MBSJ2023神戸年会形式)
- 3.完全オンサイト開催がよい                      4.完全オンライン開催がよい                      5.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/5	会期は3日間ではなく4日間の方が良い(土曜・日曜にかかっても良い)
※	1/5	会場が離れており、シンポジウム間の移動は難しかったので、オンラインは聞きたい講演を逃さず聞けたので併用はよかった。期間が長くなるのは参加が難しくなるので、ハイブリッドで期間中は視聴可能などがよい。
※	1/5	部屋の大きさには限りがあり、参加者が溢れるセッションがあるので、オーガナイザーの事前の判断でオンライン配信できるように計画する。

質問22. 今後の年会における他学会との連携についてお聞きします<複数回答可>(その他)

【回答項目】

- 1. 単独開催/他学会と連携企画/他学会との合同大会が、数年ごとにあるのがよい
- 2. 他学会との連携企画を増やすのがよい
- 3. 他学会との合同大会を増やすのがよい
- 4. ConBio2017の時のような、コンソーシアム形式の合同大会がよい
- 5. 他学会との合同開催・連携企画の必要性をあまり感じない
- 6. その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/6	合同で回数が減るメリットもあるが、巨大化すると交流が難しいので工夫が必要ではないか。

質問23. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	全体的に会場が狭く、立ち見の人が多くいる状況だったので、すでに始まってしまった発表回に途中入場することが難しくなったことが少し残念でした。
※	オンラインポスターやシンポジウムのオンライン配信は続けてほしいです。昼食に困らないように屋台やキッチンカーを呼んだのは良かったと思います。以前よりも見たい演題がかぶることなく回れたので、今回のようなタイムテーブルは良いと思いました。
※	ポスター発表について、奇数偶数番号で発表時間を区切っているにも関わらず、時間外に発表している人が多数いる。また、大きい声で関係ない話(この後の予定の打合せなど)をしている人が多く、うるさくて発表に集中できない。係員を配置して制止すべき。
※	ハイブリッドは大変だと思いますが、ありがたいです。ポケットプログラムは、セッション名の省略がわかりにくいことがありました。
※	昼食が会場内でとれると良かった。うどん、菓子のようなものが売られていましたが、普通の弁当類がなかったようです。
※	企業展示のデジタルスタンプラリー、100ポイントを貯めて時間内に行ったが、景品が無いとのことだった。無駄な時間を過ごしたと思いました。
※	ポスター会場において、照明の都合で暗くなってしまい見づらいポスターがありました。ポスター会場をセットした段階で明るさはわかるはずなので、暗くなる場所については、工夫をしていただきたいです。
※	I wish that the English session increase more than 70% of all session.
※	市民公開講座「生命科学の今と未来」をオンラインで視聴しましたが、画面のレイアウト(2画面の大小)が適切ではないと思います。会場の様子をメイン(大)にすべきです。